



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日  
東

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所  
コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 安田 伸一 (TEL) 04-7157-3535  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,760	5.2	1,560	12.7	1,546	14.0	1,353	39.4
2023年3月期第3四半期	14,986	10.9	1,384	19.3	1,355	17.2	970	20.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,561百万円( 30.8%) 2023年3月期第3四半期 1,194百万円( 51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	171.31	169.85
2023年3月期第3四半期	123.19	121.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,051	17,189	70.1
2023年3月期	20,908	15,870	74.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,864百万円 2023年3月期 15,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の期末配当金33円は、創立60周年記念配当金1円を含んでおります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	1.9	1,950	△1.4	1,950	0.1	1,659	18.8	210.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 新光ナイロン株式会社、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	8,745,408株	2023年3月期	8,745,408株
2024年3月期3Q	844,343株	2023年3月期	862,043株
2024年3月期3Q	7,900,576株	2023年3月期3Q	7,879,587株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和されたこともあり、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向となっております。一方、円安基調の継続やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価のさらなる上昇が景気を下振れさせる懸念もあり、依然として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、長期にわたり建設技能労働者の不足が解消されていないことに加え、鋼材価格が高止まりするなど厳しい状況で推移する一方、インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2022年3月期よりスタートした中期経営計画の達成目標である、売上高200億円以上を1年前倒しで達成いたしました。同計画の最終年度である2024年3月期は、売上高210億円を達成するとともに、「S.T.G Vision2023」“私たちは、独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります”の達成にいっそう磨きをかけることをスローガンとし、「人材育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題へ引き続き取り組むことにより、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,760百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益1,560百万円（同12.7%増）、経常利益1,546百万円（同14.0%増）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、負ののれん発生益の計上により1,353百万円（同39.4%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①ファスニング事業

当社の主力製品である、あと施工アンカーの販売が前年を上回る水準で好調に推移した一方、完成工事高が前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は11,935百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は1,887百万円（同16.6%増）となりました。

#### ②機能材事業

電動油圧工具関連の販売は、国内においては前年を上回る水準で堅調に推移いたしましたが、海外販売が低調であったことから前年を下回りました。

また、アルコール検知器関連の販売は前年を下回った一方、電子基板関連、FRPシート関連、包装・物流機器関連の販売は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,825百万円（同16.7%増）、セグメント利益は404百万円（同5.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,365百万円（10.4%）増加いたしました。これは主に現金及び預金、棚卸資産が増加したことによるものであります。固定資産は9,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,777百万円（22.7%）増加いたしました。これは主に土地、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は24,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,143百万円（15.0%）増加いたしました。

流動負債は3,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円（2.5%）増加いたしました。増加の主な要因は、1年以内返済予定の長期借入金が増加した一方、未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は3,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,747百万円（88.7%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,824百万円（36.2%）増加いたしました。

純資産は17,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,318百万円（8.3%）増加いたしました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年8月4日公表の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,358,051	2,856,470
受取手形、売掛金及び契約資産	4,628,469	4,633,090
棚卸資産	5,921,179	6,425,308
その他	190,714	548,773
貸倒引当金	△3,582	△3,036
流動資産合計	13,094,831	14,460,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,198,822	2,249,584
土地	3,825,652	4,102,409
その他（純額）	488,478	675,658
有形固定資産合計	6,512,954	7,027,651
無形固定資産	198,667	162,245
投資その他の資産	1,102,285	2,401,341
固定資産合計	7,813,907	9,591,238
資産合計	20,908,738	24,051,844
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,406,219	1,419,405
短期借入金	280,000	210,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	201,067	353,764
未払法人税等	382,224	203,191
賞与引当金	139,928	190,608
その他	658,061	757,831
流動負債合計	3,067,501	3,144,800
固定負債		
社債	—	30,000
長期借入金	581,344	2,091,160
役員退職慰労引当金	17,446	53,930
退職給付に係る負債	1,154,349	1,182,902
その他	217,446	360,035
固定負債合計	1,970,586	3,718,028
負債合計	5,038,087	6,862,828
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	590,491	595,769
利益剰余金	14,298,707	15,415,657
自己株式	△511,524	△507,870
株主資本合計	15,146,264	16,272,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,328	81,047
為替換算調整勘定	391,053	511,697
その他の包括利益累計額合計	411,382	592,745
新株予約権	57,538	42,129
非支配株主持分	255,465	281,993
純資産合計	15,870,650	17,189,015
負債純資産合計	20,908,738	24,051,844

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,986,576	15,760,672
売上原価	10,499,283	10,760,539
売上総利益	4,487,293	5,000,133
販売費及び一般管理費	3,102,995	3,439,432
営業利益	1,384,297	1,560,700
営業外収益		
受取利息	1,034	1,939
受取配当金	9,477	17,380
仕入割引	21,189	19,824
持分法による投資利益	1,229	—
為替差益	—	5,106
その他	38,873	32,352
営業外収益合計	71,803	76,603
営業外費用		
支払利息	1,758	5,806
売上割引	74,945	72,879
持分法による投資損失	—	2,912
為替差損	15,600	—
その他	7,900	9,387
営業外費用合計	100,203	90,985
経常利益	1,355,897	1,546,317
特別利益		
固定資産売却益	4,195	417
投資有価証券売却益	—	1,195
負ののれん発生益	—	299,109
特別利益合計	4,195	300,722
特別損失		
固定資産売却損	131	—
固定資産除却損	3,387	2,314
その他	1,150	—
特別損失合計	4,668	2,314
税金等調整前四半期純利益	1,355,424	1,844,725
法人税等	382,238	482,780
四半期純利益	973,186	1,361,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,463	8,494
親会社株主に帰属する四半期純利益	970,722	1,353,451

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	973,186	1,361,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,113	60,732
為替換算調整勘定	216,712	138,815
その他の包括利益合計	220,825	199,547
四半期包括利益	1,194,011	1,561,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162,458	1,534,814
非支配株主に係る四半期包括利益	31,553	26,677



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、新光ナイロン株式会社及び株式会社光洋を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。なお、新光ナイロン株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	9,437,187	3,278,649	12,715,836	—	12,715,836
一定の期間にわたり移転さ れる財及びサービス	2,270,739	—	2,270,739	—	2,270,739
顧客との契約から生じる 収益	11,707,927	3,278,649	14,986,576	—	14,986,576
外部顧客への売上高	11,707,927	3,278,649	14,986,576	—	14,986,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73,244	240,110	313,354	△313,354	—
計	11,781,172	3,518,759	15,299,931	△313,354	14,986,576
セグメント利益	1,618,126	428,358	2,046,484	△662,187	1,384,297

(注) 1. セグメント利益の調整額△662,187千円には、セグメント間取引消去7,315千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△669,502千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	9,849,450	3,825,430	13,674,880	—	13,674,880
一定の期間にわたり移転さ れる財及びサービス	2,085,791	—	2,085,791	—	2,085,791
顧客との契約から生じる 収益	11,935,241	3,825,430	15,760,672	—	15,760,672
外部顧客への売上高	11,935,241	3,825,430	15,760,672	—	15,760,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,330	307,906	366,237	△366,237	—
計	11,993,572	4,133,337	16,126,909	△366,237	15,760,672
セグメント利益	1,887,098	404,870	2,291,968	△731,268	1,560,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△731,268千円には、セグメント間取引消去18,066千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△749,334千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ファスニング事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として新光ナイロン株式会社の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれん発生益を209,783千円計上しております。

「機能材事業」セグメントにおいて、2023年6月30日をみなし取得日として株式会社光洋の株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、負ののれん発生益を89,325千円計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は当第3四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。